

中国茶 MingCha

おいしいお茶へのこだわり…。MingCha の主宰する中国茶講座の趣旨は、その一言に尽きるだろう。

かつて湾仔に位置していた「明茶房」が場所をMTR 太古駅近くに移し、講座も新たにスタートした。2回の単発コースが中心。その季節に摘まれたものや旬のものなど、シーズンに合ったお茶1種類をテーマに、淹れ方と味わい方をとことん吟味する。

1回目は、そのお茶の味を最高に引き出すためのお湯の温度や淹れる時間などについて手ほどきを受ける。興味深いのは2回目の講座で、お茶の「ブラインドテースティング」をする。お茶の名前を伏せながら、何種類かを飲み分け、味を評価し合うのだ。

「ブランド名や値段を聞くと、味にも先入観を持ってしまふ。ブラインドテースティングで本当の味を評価し、知識を広めることができます」と講師の袁賜弟(ハンフリー・ユン)さん。「初心者からティーコンシェルジュを目指す方まで、お気軽に参加ください」

MingCha

【場所】Room D, 12/F, Wah Ha Factory Building, 8 Shipyard Lane, Quarry Bay, HK

【活動日・時間】不定期(ウェブサイト<http://www.mingcha.com.hk>/参照) 【使用言語】英語・広東語

【費用】2回コース200ドル

【問い合わせ先】E-mail: customer@mingcha.com.hk
電話:2520-2116



「本当のおいしさを知るため、中国政府が来賓をもてなすお茶など貴重なものを取り寄せています」と講師を務めるハンフリーさん(上写真左)と袁賜蘭(ピビアン・マック)さん(同右)



左／店内では茶葉や各種茶器を購入することもできる



現代アート Kowk Art C

「藝術就是生活、生活就是藝術(芸術は生活であり、生活は芸術である)」が座右の銘という郭孟浩さん。モダンアートだ存在しなかった北京で、1970年代に万里の長城にバ、るアートを仕掛け、現代アートの旗手として一躍有名にな、そんな郭さんが韓国人アーティストの妻、チョ・ヒョン共同主宰するアート教室は、型にはまらないユニークさ、完全個別指導で、子供たちはそれぞれ異なる課題に取り組、トは楽しむことが第一。準備した課題が子供たちのその、合わないときは、臨機応変に別の材料を用意して、テ、こともあります」

音楽を聴いて踊り、得たフィーリングを自由に画用紙たり、マネキンの顔に色を塗ったり髪を飾りつけたり。素材を用いて、想像力と可能性を引き出していく。

生徒の一人ひとりに気を配り、きらりと光る才能を見、学生以上の子供たちには、美術大学への進学を勧めるこ、ばだ。本格的な指導を仰ぐために欧米のアートスク、学生たちが次々とKowk Art Centerの門をたたき、こ、人以上をトップスクールに送り出してきた。

Kowk Art Center

【場所】Flat No.1, 3/F, KintYelung Building, 27-29 Bonh West, HK.

【活動日・時間】火～金16:30～19:30、土・日11:00

【費用】レベルや年齢により異なる【使用言語】英語・標

【問い合わせ先】E-mail: kwokart@gmail.com

【ウェブサイト】<http://www.frogkingkwok.com/>